

### 松尾社交ダンス ジュニアクラス

#### みんなおいでよ！ いっしょに踊ろう！

上柳リカ

私たちは、平成二十二年度に発足し、現在七名の小中学生が毎週土曜日十時から十一時半まで、青少年ホームで活動しています。

中高年層になじみのある社交ダンスですが、ジュニアクラスでは「ダンススポーツ」として身体の発育に合わせ、運動機能を生かせるよう、ストレッチ運動やダンスコンディショニング、大人から

子供まで一緒に楽しみながらダンスが学べる「ダンスうんどう」を取り入れて練習をします。



### クラブ・教室だより

ダンスうんどうでは一人で踊る動きから二人ペアの動きに展開していくので抵抗なく相手の子と組むことができます。

去年は「伊那谷文化芸術祭」で大人のダンスサークルと共演し、三世代交流ダンスを披露しました。松尾公民館では「踊ってみよう会」「文化祭芸能発表会」に出演。この夏はJ A松尾支所「納涼祭」でトラックステージを経験しました。

今後は、北信、中信のジュニアクラスとの交流を持ち、ダンススポーツ競技会にも挑戦したいです。

### 松尾相撲クラブ

#### 「はっけよい！」

皆さんはじめまして！

私たちは、今年度から発足しました「松尾相撲クラブ」です。

元々は「松尾小学校相撲部」で活動してきましたが、「小学校を卒業しても相撲を続けたい！」という想いから、このクラブを発足することになりました。

現在、清水里香・宮澤みゆき両先生のご指導の下、園児一名、

## 松尾育成会便り

平成24年度  
第27号

松尾地区まちづくり委員会  
公民館 育成部  
青少年健全育成会

### 調べてみました！

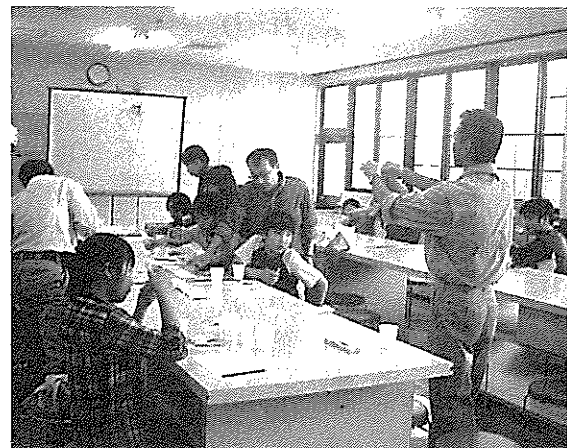
#### 松尾の川の水中生物をつかまえよう

子供たちが手にもっているポリチューブの色が、ピンクや青、緑の色に変化しています。この色の変化により、川の水の水質分析を行うことができます。

標準色がでている本と見比べて、「この色かなあ」「この色とこの色の間くらいの色じゃない」と声をかけあって皆で調べてみました。

六月十七日(日)、「松尾の川の水中生物をつかまえよう」を行いました。残念ながら、昨年に続き前日の雨の為、川に入る事ができず、予定していた水質調査のみ行いました。

今年度は、かわらんべより、久保田先生を講師にお迎えし、「三つの川の水」「中溝川」「松川」「天竜川」の水質分析を行いました。



最初に久保田先生より分析する五つの項目の説明を受け、その後、中溝川の水を一人ずつ二斉に薬剤の入ったポリチューブに入れ色の変化を調べました。それぞれ色の変化により反応時間が違う為、先生のかげ声にあわ

小学生十六名・中学生六名・高校生一名の二十二名が在籍しています。

主に水曜日の夕方と土・日曜日の朝に稽古をし、また長野・松本・木曾での相撲大会や強化練習に参加し、県の強豪クラブを相手に奮闘しています。中には、県大会で上位に入り北信越大会・全国大会に出場する部員も



また当クラブは相撲の技量を磨くことは勿論ですが、先生方より「あいさつや礼儀を重んじる」ことを教えられ、部員も常に心掛けて実践しています。県大会では「ベストマナー賞」と評されるほどになりました。

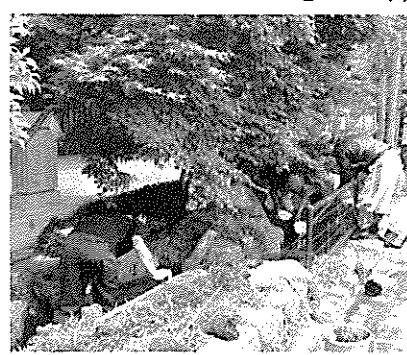
みんな笑顔で楽しく活動しています。気軽に見学に来てください。「はっけよい！」

### 育成会教養部

教養部では年三回、松ぼっくりの池清掃と、各地区集会所に掲示してある挨拶看板の移動を



しています。松ぼっくりの池には、金魚、めだか、どじょう、ザリガニなどが生息していますが、ザリ



ガニは金魚を食べてしまうので、毎回、全員で、一生懸命捕獲しています。五月の清掃では二百匹近く捕まりました。

九月の清掃では、金魚を放流の予定で

せて皆で同時に行いました。

続いて、松川、天竜川を、一つの薬剤を担当し、全部調べ終わったと結果をまとめました。

中溝川は硝酸態窒素が少し高く心配になりましたが、この時期田んぼに水を入れていたのでその影響かなと説明してくださいました。松川はCODが高く増水の影響ではないか、天竜川は特に問題

### 楽しかった囲碁ボール

五年 三沢らん

七月十四日、松尾公民館でおいさん、おばあさんに教えてもらいながら楽しくみんなまで囲碁ボールをやりました。前にやった事があるけど、ボールがあつちこつちに行つてしまい、むずかしかったです。でも、なれるととっても楽しかったです。勝負に勝つたり負けたりしても、おたがいに応援しあつたりできたのでよかったです。なあと思いました。また、高齢者の方々と交流ができたので、とてもいいきかいでした。自分より年下の子たちと作戦をたてたり、いっしょに応援したり、仲良く



なつたのが一番うれしかったです。学校の授業ではできないけど、これなら、囲碁ボールができる時があつたら、またみんなでも楽しみたいと思えました。



### 地区だより

り、大いに盛り上がりました。はじめに、松尾サイエンスの方々による、おもしろ科学実験「プラカップの七変化」がありました。プラカップにマジックで色を塗ってオーブンで加熱すると、小さな板になり、ぶんぶんゴマやペンダントを作りました。そんな中、ぶんぶんゴマに糸を通すのに困っている低学年の子供がいると、高学年の子供が一緒に手伝っている姿も見られました。

その後、公園でかき氷を食べたり、水ヨーヨーすく

水城地区では、夏休みの期間を利用して、小学生を対象に子供講座を開催しています。子供講座とは、工作や科学の実験を楽しく学ぼうとする企画の事です。この講座は、下は一年生(場合によっては保育園児)から、上は六年生まで出席でき、兄弟姉妹又は友達と一緒に参加出来るので、和気あいあいとしているのが特徴です。

さて今年度は去年好評だった松尾サイエンススクールを又お願いしました。

### 水城地区

#### 出張 松尾サイエンススクールIN水城

支部長 桜井弘幸

いをしたりして、お祭り気分を味わいました。ここでは、六年生が売り子となって縁日を盛り上げてくれました。

このお楽しみ会を通じて、近所の子供同士や、学年を超えた繋がりができました。これからも子供達が仲良く楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

「はつきりクラブ」って何を勉強する会!?とよく聞かれます。詩吟を勉強する会です。「朱熹」の「偶成」「少年老い易く、学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」、俳句では、「茶の「我と来て、我と来て遊べや親のない雀」、芭蕉の句「古池や、古池や蛙飛び込む水の音」、「閑かさや、閑かさや岩にしみ入る蝉の声」等親しみ易い俳句、そして短歌では「ふるさとの山に向ひて言うことなし、ふるさとの山は、ありがたきかな」

村松淳子

### はつきりクラブ



### クラブ・教室だより

石川啄木の句など大きな声で調べにのって吟じると気分もすーとして、何回も練習することによってお腹の底から声が出るようになり、健康にも良いそうです。知らなかった短歌や、俳句、漢詩に接する事で、よい勉強にもなります。

今年六月に県大会が「小諸文化会館」で開催され、小三の部で窪田珠梨さんが、二位入賞しました。勉強を始めて、まだ日が浅いにもかかわらず、前向きに、頑張っています。ほんとうに、うれしかったです。入会をお待ちしています。



長野県内で昨年検挙、補導された非行少年の総数は、一七四

### 少年非行の現状と背景

松尾駐在所 高見沢 昇

二人で、前年より二三七人減少しました。しかしながら、中学生、高校生の侵入窃盗や集団による傷害事件など、少年犯罪の悪質、凶悪化がうかがえ、少年の非行は憂慮すべき状況にあります。また、少年が再び犯罪を犯す割合の高さも問題となっています。一度非行に走ると、不良グループとの付き合いが続き、再び非行に走ることも多く、さらに、特定の少年が繰り返し検挙、補導されています。少年非行の背景には、少年自身の問題としては、社会のルールを守るといった規範意識の低下や他人とのコミュニケーション能力の不足があります。家庭の問題と

しては、親子の関係が希薄になってきており、自分の子供が飲酒喫煙等の不良行為を行っていたとしても、それを知らなかったり、黙認している親が見受けられます。また、親の規範意識が欠けているケースも見られ、まず家庭において、善悪の区別や社会のルールを守ることにどうついで、幼児期から親がしっかりととしたしつけを行っていくことが大切です。地域社会の問題としては、地域社会が他人の子供に無関心であると言われています。たとえ自分の子供ではないとしても、「悪いことは悪い」とまわりの大人がきちんと注意し、本人自覚させることが大切ではないでしょうか。家庭は、子供にとつて最も身近な社会です。幼いときから社会のルールをしつけることが大切だと思います。最後に、非行少年を生まないために、地域全体で、少年の非行に走る要因、背景などについて理解を深め、厳しくも温かい目で少年を見守りましょう。

### ニユースポーツ体験 みんなでチャレンジ囲碁ボール!!

清水 平澤昌昭

去る七月十四日、松尾公民館ホールにて「ニユースポーツを楽しもう」と言う会が開かれ囲碁ボールが高齢者双葉会の御指導の下、開催されました。

当日は、松ぼっくりの子供さん、先輩であるお兄さん、お姉さん、それにスタッフ合せて四十人程が参加されました。最初に双葉会の水野さんより、分り易い囲碁ボールの由来、ゲームのルール等説明を受けた後、四チームに編成を組む、さあ、プレー開始。最初は静かだったホールがそのうち「ガンバレ、ガンバレ」とお互いに声援し合い、徐々にホールも活気づいて来ました。中には一心不乱に競技に集中する子、思うように球が打てず泣きだす子、よっぽど悔しかったんでしょね、それを見て優しく宥める先生、お友達、球が囲碁のマス目に入る」と「よっしゃ」とガッツポーズをする子、いろいろな一コマを

### お知らせ

#### 今後の育成会事業

(行事部)

- 十月 モデルロケットを飛ばそう (松尾小学校五年生)
- 二月 松尾地区文化祭 (おもしろ科学教室)

(教養部)

- あいさつ標語募集
- 及び看板設置移動
- 松ぼっくり池の管理

(広報部)

育成会便りの発行第二十八号

### 明地区

#### 夏のお楽しみ会

支部長 竹村圭司

八月二十六日、明地区児童会恒例の「夏のお楽しみ会」を行いました。地区児童の八割にあたる約九十人の子供の参加があ